

事務事業評価シート

(H.30)No.	3156	(H.29)No.	3156
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農業次世代人材投資事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	岩本 靖之	

会計区分	事業コード	301601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	農業次世代人材投資事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	農業次世代人材投資事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	1	農林資源
重点プロジェクト	1.元気創造プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農業を始めて間もない時期の青年就農者へ資金を交付することにより、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」の解決を図る。
事業内容
青年の営農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保するための資金を交付する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	青年就農者の所得を確保するため就農直後(5年以内)に資金を交付する。 ・2,250千円/組×1組(夫婦型) ・1,500千円/人×4人 ・750千円/人×1人(半期給付)	青年就農者の所得を確保するため就農直後(5年以内)に資金を交付する。 ・2,250千円/組×1組(夫婦型) ・1,500千円/人×7人 ・750千円/人×1人(半期給付)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			青年就農者の所得を確保するため就農直後(5年以内)に資金を交付する。	青年就農者の所得を確保するため就農直後(5年以内)に資金を交付する。	青年就農者の所得を確保するため就農直後(5年以内)に資金を交付する。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		9,000千円		13,500千円	12,750千円	12,750千円	12,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金		9,000		13,500	12,750	12,750	12,000
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.12人		0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	895千円	0千円	1,184千円	1,184千円	1,184千円	1,184千円
①+②総事業費	0千円	9,895千円	0千円	14,684千円	13,934千円	13,934千円	13,184千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
7名(うち新規受給者1名)の給付実績があり、青年就農者の定着支援に寄与した。青年就農者への支援によって、担い手づくりに貢献する。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
-------------------------------------------------------------------------	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
本事業の周知啓発に努め、積極的に制度を利用いただくことで青年就農者の経営安定を図っていくとともに、県やJAなどと連携し、営農指導にも取り組んでいく。所得の安定には一定の期間が必要であるため、継続して事業を行う。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第3次名張市農業マスタープラン